

# 脳脊髄腫瘍科

## ○ 脳脊髄腫瘍科の概要

### 1. 脳脊髄腫瘍科の特色

我が国最初の脳脊髄腫瘍に特化した診療科で、特に悪性脳腫瘍を中心として全国有数の症例数を誇っている。

### 2. 診療実績

2017年 脳腫瘍摘出手術 148例、脊髄腫瘍摘出手術 2例

### 3. 診療・教育スタッフ

西川 亮 (教授) : 悪性脳腫瘍の集学的治療、脳下垂体腫瘍  
三島 一彦 (教授) : 悪性脳腫瘍の集学的治療、良性腫瘍、頭蓋底腫瘍  
安達 淳一 (准教授) : 悪性脳腫瘍の集学的治療、覚醒下脳腫瘍手術  
鈴木 智成 (准教授) : 脳腫瘍全般、小児脳腫瘍、脊髄腫瘍、内視鏡手術  
白畑 充章 (講師) : 悪性脳腫瘍の集学的治療、分子病理学

ほか、助教 1-2名

### 4. 研修責任者と臨床研修指導医、上級医 (指導者)

研修責任者: 西川 亮 (診療部長)  
臨床研修指導医: 安達 淳一、鈴木 智成  
上級医 (指導者): 三島 一彦、白畑 充章 (研修担当医長)

### 5. 臨床研修プログラムの特色

初期研修で脳脊髄腫瘍科を選択するには二つの立場があると考えている。

#### (1) 脳神経外科あるいは特に脳脊髄腫瘍科へ進むことを念頭に置いている場合

この場合は、当科の他に、脳卒中外科、脳血管内治療科、および埼玉医科大学病院脳神経外科のうちの複数あるいは単独の診療科において研修することを強く推奨する。これによって脳卒中治療から脳定位手術までほぼすべての脳神経外科疾患を網羅することができる。基本的には手術を中心に学んでもらう。

#### (2) 「がん」特に「小児がん」を専門にするために必要な研修として、脳脊髄腫瘍科を考えている場合

脳腫瘍は小児の固形癌の第一位を占める。一般に馴染みがないが、当科ではふんだんに症例を経験することができる。他のがん関連診療科をローテートする一環として脳脊髄腫瘍科で研修を行う。手術のみならず放射線治療と化学療法といった集学的治療について学んでもらう。

### 6. 経験目標・到達目標

#### 一般目標

脳神経外科疾患の診断と治療に関する基本的な知識と技術を身に付ける。同時にコメディカルらも含むチームの一員である医療人として必要な基本姿勢や診察態度を習得する。

#### 到達目標と評価表 (1ヶ月間研修した場合)

【評価 A:可 B:不可】	自己評価	指導医評価
1. 急性期・慢性期に応じた神経学的診察ができ、カルテへの記載ができる。	( )	( )
2. 頭部 CT、MRI の読影ができる。	( )	( )
3. 急性期患者の病態に応じた治療を述べるができる。	( )	( )
4. 手洗いをして開頭手術の助手として参加し、手術を間近にみる。	( )	( )

#### 到達目標と評価表 (2ヶ月目以上研修した場合)

【評価 A:可 B:不可】	自己評価	指導医評価
1. 急性期・慢性期に応じた神経学的診察ができ、カルテへの記載ができる。	( )	( )

2. 頭部 CT、MRI の読影ができる。	( )	( )
3. 急性期患者の病態に応じた治療を述べるができる。	( )	( )
4. 手洗いをして開頭手術の助手として参加し、手術を間近にみる。	( )	( )
5. 腰椎穿刺ができる。	( )	( )
6. 指導医の下で穿頭術や開閉頭ができる。	( )	( )
7. 脳血管造影所見の基本的読影ができる。	( )	( )
8. 脳腫瘍手術の周術期管理ができる。	( )	( )
9. 悪性脳腫瘍の化学療法が理解できる。	( )	( )

### 7. 週間スケジュール (変更の可能性あり)

月	火	水	木	金	土
手術	放射線腫瘍科・リハビリテーション科等との合同脳腫瘍カンファ	病棟	脳腫瘍カンファ・総廻診	病棟	病棟
	抄読会あるいはリサーチカンファ		手術		
	ビデオカンファまたはグラウンドラウンド				
	病理診断科・画像診断科との合同脳腫瘍病理カンファ (月1回)				

### 8. 研修に関する問い合わせ先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1  
 埼玉医科大学国際医療センター 包括がんセンター  
 脳脊髄腫瘍科 安達 淳一 (准教授) または白畑 充章 (講師)  
 TEL : 042-984-4111 (代表)  
 FAX : 042-984-4741  
 E-mail : jadachi@saitama-med.ac.jp (安達)  
 Misrht@saitama-med.ac.jp (白畑)